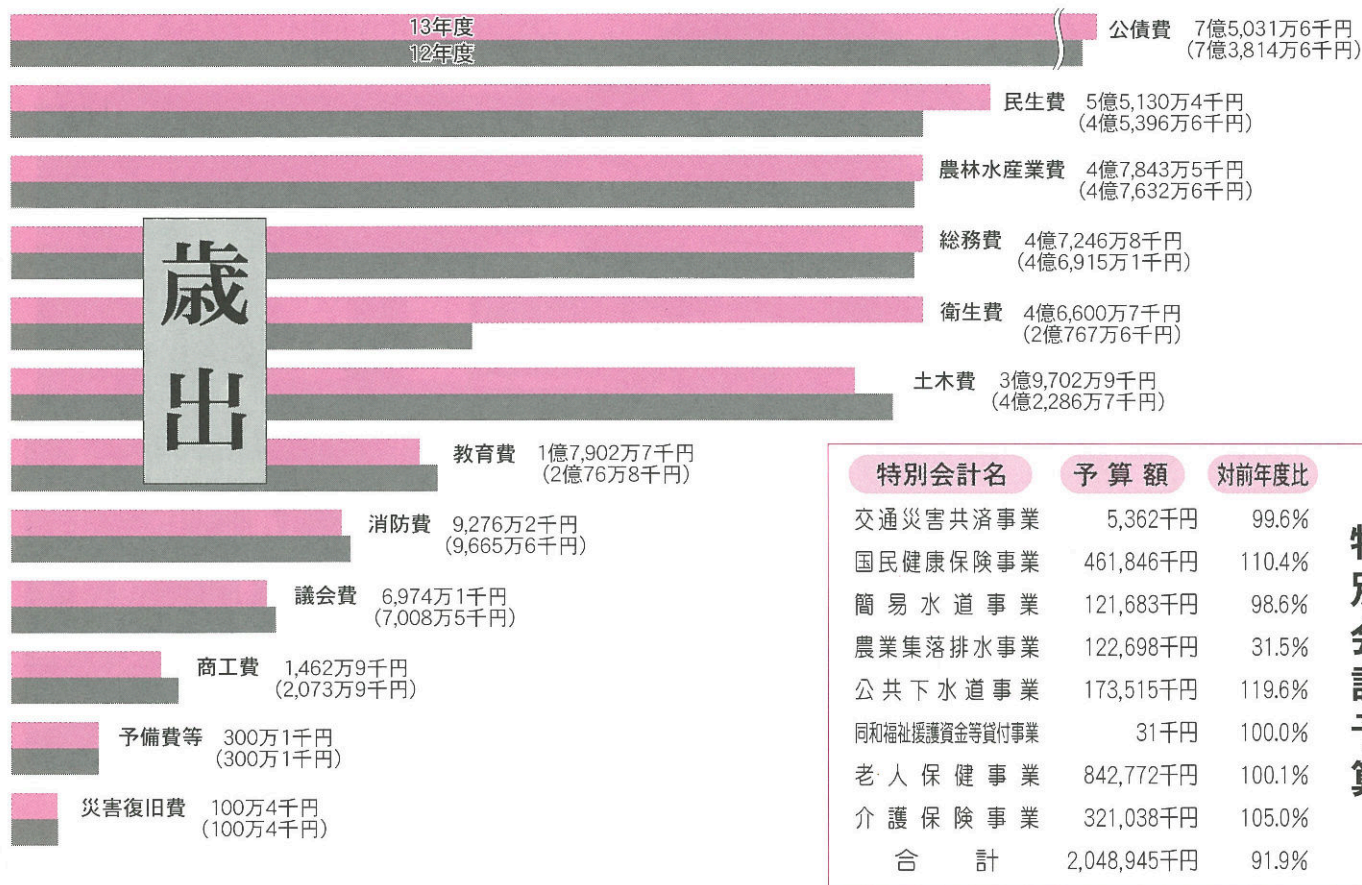


# 一般会計総額

## 34億7,572万3千円 (対前年度比 10.0%増)



特別会計予算

十三年度予算編成にあたって



日置町長  
江原 清

二十一世紀を迎え、我が国の経済は総じて緩やかな改善を続けているとされており、依然として厳しい状況にあることに異論はなく、またここに来て、米国経済の急激な減速や株価の下落なども懸念されておるところであり、引き続き景気に軸足を置いた経済の再生を強く期待致すものでございます。

さて、国・地方を通じて財政の硬直体質が徐々に顕在化する中、とりわけ自主財源の乏しい本町におきましては慢性的な財源不足を抱えており、現下、多様な住民皆様方のニーズに加え、少子高齢化対策、環境問題、高度情報化への取り組み等々、今日的な政策課題の解決に向けて、それら財源を如何にして確保し捻出するのか、年を追って腐心の度合いが昂じているのが実情でございます。

そこで平成十三年度の予算編成にあたりましては、経常経費の節減はもとより、事務事業それぞれに裏付け財源に細心の気配りを致し、前記政策課題への適切な対処とともに、本町の存在感の更なる高揚を目指し、特に老人福祉対策の推進、定住環境の整備、生活環境基盤整備の促進、及びIT革命に即応した情報基盤整備の早期実現等を重点施策に据え、上記のとおり一般会計では前年度対比10%の増、特別会計を含めた総額におきましても二・五%増の積極型通年予算と致したところでございます。

主たる事業では、まず保健センター及び地域福祉センターの建設でございまして、保健センターは地域保健の充実強化をはかるための中核施設となるもので、将来展望に立脚して今年度建設することとしたものであり、一方地域福